

公開講座

名古屋外国語大学オープンカレッジ
教養講座、言語講座

2024年度 秋期

開講
期間

2024年 9月30日(月) - 12月23日(月)

申込
期間

2024年 9月9日(月) - 9月23日(月)



名駅キャンパス(サテライト)内 WLALi(ヴラリ)図書室

名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト)

「人生百年」の教養

名古屋外国語大学オープンカレッジへようこそ！



亀山 郁夫

名古屋外国語大学学長・WLLCセンター長

2022年4月、私たちの名古屋外国語大学「名駅キャンパス（サテライト）」に、「オープンカレッジ」が誕生しました。それから2年、名古屋外国語大学ならではの教養と言語の学びは、少しずつ広がりを見せてきました。対象となるのは、主に愛知、岐阜、三重の中部三県に住む社会人、大学生、高校生の皆さん。講座を担当するのは、名古屋外国語大学で教鞭をとる現役のスタッフです。今期は、教養10講座、言語18講座（13言語）を開講します。受講者それぞれの関心と知的好奇心に合った講座が、このオープンカレッジで見つかることを願っています。

教養は、人生百年時代をサバイバルするための基礎力。都心の美しい夜景をのぞみ、ライトアップされた木々を見下ろす魅力的な空間で、それぞれ異なる世代の人々と、ともに「教養」の楽しさを体験しませんか。



目次

P1 ご挨拶

P2 募集要項

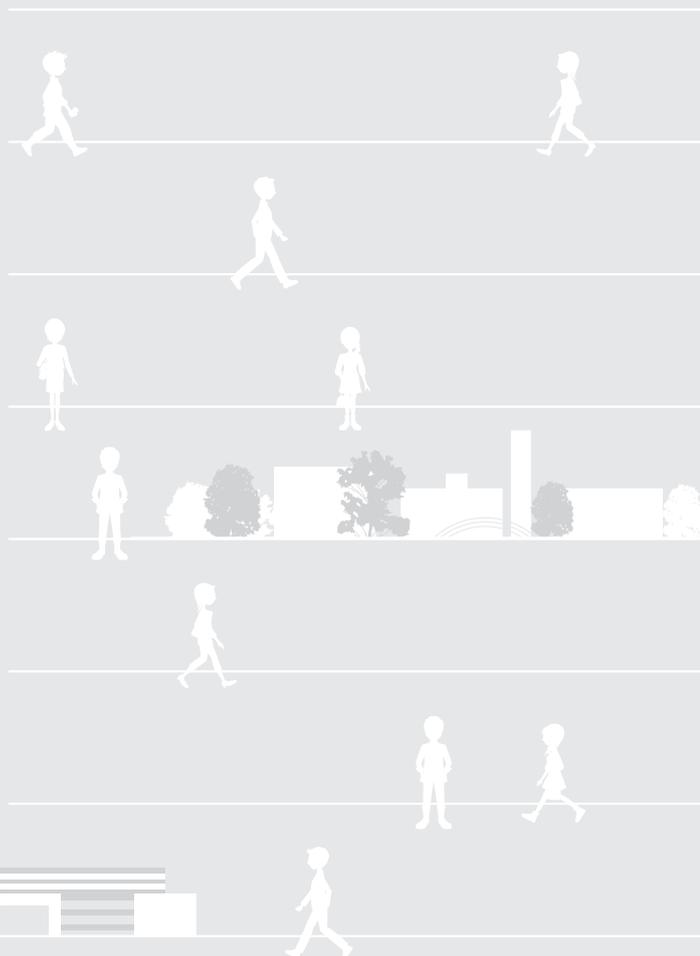
- ・受講申込
- ・受講資格
- ・開講期間
- ・休講日
- ・授業時間
- ・受講料
- ・会場
- ・修了証
- ・申込期間
- ・申込方法
- ・注意事項
- ・施設利用について
- ・問い合わせ先
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・フロアマップ

P4 講座一覧

教養講座
言語講座

P5 講座紹介

教養講座
言語講座



募集要項

受講申込

学期制のため、学期ごとに受講申込をお願いします。教養科目、言語科目ともに1講座から登録可能です。

受講資格

中学校を卒業されている方ならどなたでも受講可能です。学歴、年齢、性別、職業、国籍を問いません。

開講期間

2024年9月30日（月） - 12月23日（月）

開講期間内の国民の祝日は休講日となります。補講日もこの期間に含まれます。

休講日

スポーツの日：10月14日（月）

文化の日の振替休日：11月4日（月）

勤労感謝の日：11月23日（土）

授業時間

各回の授業時間は80分です。

月曜から金曜の5限（16:40-18:00）、6限（18:20-19:40）、土曜の2限（10:50-12:10）に開講されます。

受講される講座の曜日と時限は各講座の案内をご確認ください。

※授業は対面で行います。オンラインではご受講いただけません。

受講料

受講料、授業回数は学期により異なる場合がございますので、各講座の案内をご確認ください。受講料は全て税込みで表示されています。テキスト代は受講料に含まれません。テキストは各自、書店またはインターネットでご購入ください。「参考書」と記載のテキストは購入必須ではございません。なお名古屋外国語大学に在学中の学生は受講料無料です。高校生並びに名古屋外国語大学の卒業生は50%割引で受講できます。

会場

名古屋外国語大学 名駅キャンパス（サテライト）

BIZrium 名古屋 6F（イオンモール Nagoya Noritake Garden 併設）

〒451-0051 愛知県名古屋市中区則武新町3丁目1番17号 BIZrium 名古屋6F

各講座の教室は受講者数に応じて決定されますので、授業初回時に現地にてご確認ください。

受講者には駐車場のご用意はありません。来校には公共交通機関をお使いください。

修了証

複数の学期にまたがって受講し、「教養」科目群から6科目以上を履修し、所定の条件を満たした方には「名古屋外国語大学オープンカレッジ教養講座修了証」を発行します。各自で確認の上、ご申告ください。（教養講座は科目によって開講回数が異なるため、修了証発行に関して、1講座6回以内のものは2講座で「1」と計算します。）

申込期間

2024年9月9日（月） - 9月23日（月）

申込方法

受講申込はインターネットをお使いいただき、以下のリンクから行ってください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/noc2024f>

インターネットがお使いになれない場合に限り、事務局窓口でもお申し込みできます。詳しくは名古屋外国語大学キャンパスオープンカレッジ事務局にお問い合わせください。

TEL: 052-526-3103（代表） 平日10時～16時



注意事項

以下の注意事項を必ずお読みいただき、ご了承いただいた上でお申し込みをお願いいたします。

- 受講料は初回授業当日に現金にてお支払いをお願いいたします。
※クレジットカードやモバイル決済はご利用いただけません。
- 受講料の納入時に名札（受講証）をお渡します。
- ご本人の事情により受講ができなくなった場合、受講料の返金はいたしかねます。
- 一科目の登録者数が5名に満たない場合は不開講となる場合がありますのでご了承ください。
- 本学ウェブサイトやその他の刊行物に、受講風景の写真が掲載されることがありますのでご了承ください。
- 他の受講者への誹謗中傷・迷惑行為は固く禁止させていただきます。
- 大学構内では物品の販売、勧誘行為等はかたく禁じられています。
- その他、授業の円滑な進行を妨害するなどの行為は、出席停止等の対象となる場合があります。その場合、受講料の返還は認められません。
- 受講者間のトラブルには大学は一切責任を負うことができません。
- 受講者の皆様が快く授業を受けられるようご協力をお願いいたします。
- 語学講座では受講者ご自身のレベルにあったクラスの受講をお願いします。開講後にレベルが合っていないと判断された場合、大学側の判断でクラス変更をお願いすることがあります。クラス分けの試験はありませんので、シラバスに記載されたレベルの判断には、目安として民間の語学試験等をお使いください。
- 本学名駅キャンパスのある建物：BIZrium名古屋のエントランスは19時以降施錠されます。原則として19時以降は入構できませんので遅刻限度にお気をつけください。

施設利用について

受講者には、名古屋外国語大学名駅キャンパス（サテライト）内にあるWLALI 図書室を自習室として解放します。飲食についてはWLALI 図書室または、Agora（前室）をご利用ください。

問い合わせ先

名古屋外国語大学 名駅キャンパス（サテライト）事務室内、名古屋外国語大学オープンカレッジ事務局

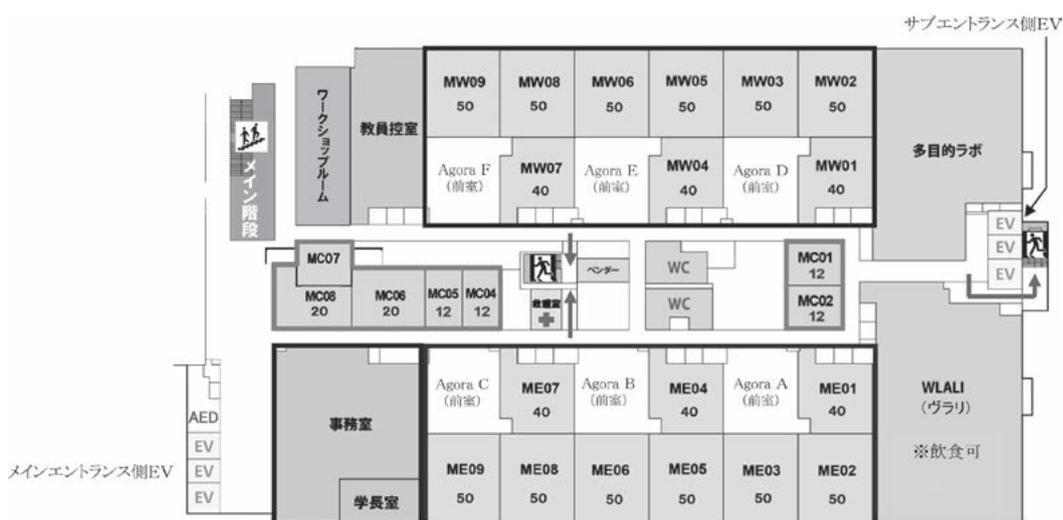
TEL: 052-526-3103（代表） 平日10時～16時

MAIL: opencollege_gg@nufs.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

受講申込時に必要な情報をご提供いただきますが、受講者の個人情報は厳重に管理し、講座の運営のみに利用いたします。

フロアマップ



講座一覧



■教養講座

番号	科目名	担当者	開講曜日	回数	受講料(税込)
C1	開宗850年！浄土教の芸術とその教義	湯谷 祐三	月曜6限	10回	13,800
C2	コミュニケーションを科学する ー英語・日本語のコミュニケーションを中心として理論から実践までー	橋尾 晋平	月曜6限	10回	13,800
C3	概念と知覚の哲学：エピステモロジー入門Ⅱ	上西 晃生	火曜6限	10回	13,800
C4	目からウロコの宗教学入門 ートトロはなぜ「となり」にいるのか、神がいるならなぜ世界に悪があるのか他	根無 一信	水曜5限	10回	13,800
C5	イタリアへ行く前の美術の予備知識と文化	桑原 恒和	水曜6限	10回	13,800
C6	生成AI・コーパスで親しむ英語の古文 (古英語・中英語講読)	今井 康貴	水曜6限	10回	13,800
C7	ギリシア語に親しむ	児玉 茂昭	木曜5限	10回	13,800
C8	ソ連・ロシア映画でみる食事コミュニケーション ー我々はどこで食べるのか、我々は何を口にするのか、我々は何を話すのかー	杉山 真央	木曜5限	10回	13,800
C9	外国語の習得を考える ー外国語教師の基礎知識としてー	坂本 正	木曜6限	10回	13,800
C10	Introduction to Sustainable Development Goals (SDGs)	マージョリー・リズエロ	金曜6限	10回	13,800



■言語講座

番号	科目名	担当者	開講曜日	回数	受講料(税込み)
L1	初めてのネパール語と写真比較から学ぶ ネパール文化基礎講座	アスタ・トゥラダール	月曜5限	10回	13,800
L2	中国語入門2	周素芬 (シュウ・ソウフン)	月曜6限	10回	13,800
L3	タイ語初級 (0からタイ語)	寺田 ダラボン	月曜6限	10回	13,800
L4	ロシア語初級完成	イーホル・ダツェンコ	月曜6限	10回	13,800
L5	少し学んだ方のイタリア語 初中級	アナスタージャ・ブンドック	火曜6限	10回	13,800
L6	韓国語入門2	李惠敏 (Lee Hyemin)	火曜6限	10回	13,800
L7	フランス語入門2	ジェローム・パク	火曜6限	10回	13,800
L8	様々なテーマに関して英語で話してみよう	柴田 直哉	水曜5限	10回	13,800
L9	トルコ語入門2	ガムゼ・ケツレ	水曜6限	10回	13,800
L10	How Languages are Learned: An Introduction to Language and Mind	ベッキー・アルプ	水曜6限	10回	13,800
L11	中国語初級2	周素芬 (シュウ・ソウフン)	木曜6限	10回	13,800
L12	Exploring the Philippine Culture and Tagalog Language	マージョリー・リズエロ	木曜6限	10回	13,800
L13	始めたばかりのイタリア語 初級	アナスタージャ・ブンドック	金曜6限	10回	13,800
L14	スペイン語初中級2	中川 智彦	金曜6限	10回	13,800
L15	ブラジル・ポルトガル語 (初中級2)	ジース・ハダマ・パトリシア	土曜2限	10回	13,800
L16	Introduction to Arabic Letters	フセイン・サディク	土曜2限	10回	13,800
L17	タイ語中級	寺田 ダラボン	土曜2限	10回	13,800
L18	Let's Talk in English	マージョリー・リズエロ	土曜2限	10回	13,800

※受講料にテキスト代は含まれません。



開宗850年！浄土教の芸術とその教義

C1・月曜6限

湯谷 祐三 (10回)

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/21、④10/28、⑤11/11、⑥11/18、⑦11/25、⑧12/2、⑨12/9、⑩12/16 (予備日：12/23)

◆講師プロフィール

湯谷 祐三 (ユタニ ユウゾウ)
名古屋大学修士
名古屋外国語大学講師
日本文学・仏教学

◆講座の趣旨・目標

今年、法然房源空が専修念仏の思想を提唱し、「浄土宗」を開いたとされる承安五年(1175)から850年にあたる。阿弥陀仏を念じて極楽往生を願う浄土教の思想は、平安期から鎌倉期以降の日本の思想文化や造形芸術に大きな影響を与えているが、宗教芸術の鑑賞には、そこに表現された教義(法門)の理解が不可欠でもある。本講座では、浄土宗に関連した芸術文化作品について、その思想的ポイントをふまえて、理解することを目標

とする。※10月から京都国立博物館にて特別展「法然と極楽浄土」が開催されます。

◆講座内容

- 第1回 「浄土宗」以前の浄土教の世界—魅惑の「阿弥陀堂」
- 第2回 法然の思想とその法門—遣迎二尊像と二河白道図
- 第3回 法然の弟子たち—その風貌と様々な法門
- 第4回 極楽浄土の姿(1)—当麻曼荼羅の発生とその法門
- 第5回 極楽浄土の姿(2)—当麻曼荼羅をめぐる縁起と巡礼
- 第6回 来迎と往生の「時」—来迎図と迎講(むかえこう)
- 第7回 絵伝に見る浄土教のドラマ
- 第8回 浄土教の説話とその法門—「雄俊」説話と熊谷直実
- 第9回 地獄の諸相と様々な「浄土」
- 第10回 柳宗悦の念仏理解—『美の法門』と『南無阿弥陀仏』

コミュニケーションを科学する—英語・日本語のコミュニケーションを中心として理論から実践まで—

C2・月曜6限

橋尾 晋平 (10回)

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/21、④10/28、⑤11/11、⑥11/18、⑦11/25、⑧12/2、⑨12/9、⑩12/16 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

橋尾 晋平 (ハシオ シンペイ)
同志社大学博士(文化情報学)
名古屋外国語大学外国語担当専任講師
英語教育、応用言語学、コミュニケーション学

◆講座の趣旨・目標

この授業では、講座担当者オリジナルの教材を用いて、全10回の講義を通して、言語学・コミュニケーション学のさまざまな理論について学んでいきます。それぞれの理論のインプットだけでなく、具体的なコミュニケーションの場面を数多く想定して、授業で取り扱った理論を実際のコミュニケーションに使用できるようにすることを目指していただきます。

特に、以下のようなことに興味がある方におすすめの講座となります。

- ・コミュニケーション能力が高い人の特徴とは何か?
- ・人に何かを頼んだり、謝罪をする際に気をつけたいといけな

いことは何か?

- ・ジェスチャーはコミュニケーションにどのような効果があるか?
- ・日本語と英語でコミュニケーションの方法に違いはあるのか?
- ・海外で生活するうえで心がけないといけなことは何か?

◆講座内容

- 第1回 ことばとは、コミュニケーションとは何か
- 第2回 コミュニケーションの基本概念
- 第3回 さまざまなコミュニケーションの形態
- 第4回 コミュニケーションにおけることば(1)
- 第5回 コミュニケーションにおけることば(2)
- 第6回 非言語コミュニケーション
- 第7回 ことばと社会(1)
- 第8回 ことばと社会(2)
- 第9回 ことばと文化
- 第10回 異文化コミュニケーション



概念と知覚の哲学：エピステモロジー入門Ⅱ

C3・火曜6限

上西 晃生 (10回)

教材：参考書（購入必須ではない）概念工学宣言 ISBN: 978-4-8158-0941-6 3,600円(税込)
Amazon で入手可能です。

①10/1、②10/8、③10/15、④10/22、⑤10/29、⑥11/5、⑦11/12、⑧11/19、⑨11/26、⑩12/3（予備日：12/10）

◆講師プロフィール

上西 晃生 (ウエニシ アキオ)
パリ第八大学修士、本年度内にブリュッセル自由大学博士号取得予定
名古屋外国語大学講師、豊橋技術科学大学講師、慶應義塾大学講師
エピステモロジー、分析哲学

◆講座の趣旨・目標

私たちは「哲学をする」というフレーズから、どのような行いを思い浮かべるでしょうか。「物思いに耽る」であったり「解きようのない問題についてを考える」などの、途方もない無駄な作業を繰り返すというような漠としたイメージを思い浮かべる人が大半なのではないでしょうか。しかし哲学には「概念」という固有の道具があります。哲学は時代と共に、私たちの「生」や人類の生存にとって重要な「概念」を、社会の実現や個人の生き方に貢献できるように創造し、その改善を繰り返して来ました。そういった道具としての「概念」は元来、個物の抽象とその内容の捨象により形成され、言語と共にある一定の普遍性を提示するものです。しかし、どのようにその「概念」は時代と共に創造され、またどのように自らを改善をさせ続けているのでしょうか？そして私たちに世界を映し出す「知覚」とはどのような関係にあるのでしょうか？私たちは、それらの問いに関して今一度、哲学的アプローチと心理学系（社会心理学・発達心理学・認知科学）アプローチから再考する必要があります。20世紀初頭の分析哲学は「言語論的転回」と共に論理実証論と日常言語論へと分岐し、命題や発話の「真/偽」や「有意味/無意味」を規準に展開されました。そして1970年代以降、そのよ

うな「知覚」への問いは分析哲学が「心の哲学」という新しい領域へと進展する一つの要因となりました。本講義においても、フランス・エピステモロジーの紹介が重要なものとなり、現代における「心の哲学」との関わりに着目しながら進められればと思います。そして実際的な実験や「思考実験」と呼ばれるものなどへもイメージが持てるようになるということを目指して講義へ臨んで頂けたらと思います。

◆講座内容

- 第1回 概念と知覚
- 第2回 G. フレーゲによる「概念の哲学」
- 第3回 B. ラッセルと論理実証主義
- 第4回 日常言語学派、P.F. ストロウソンの記述形而上学、G. エヴァンスによる「直示的同定」（新フレーゲ論Ⅰ）
- 第5回 知覚内容の概念性と非概念性（新フレーゲ論Ⅱ）
- 第6回 J. ビアジェと J. カヴァイエスによる「概念の哲学」（フランスにおける位相Ⅰ）
- 第7回 M. ゲルレーと G. グランジェによる「メタ概念の哲学」（フランスにおける位相Ⅱ）
- 第8回 概念の発達心理学的アプローチ（L. ヴィゴツキー、S. ケアリー、E. スペルキ）
- 第9回 心の哲学における概念と知覚（J. フォーダー、R. ミリカン、A. ゴルドマン）
- 第10回 メタ認知の哲学、動物認知科学、そして来たるべき「概念と知覚の哲学」の為に
（春期に扱った「知識の哲学」をより具体的に深化させつつ、可能な限り平明にご説明できればと思います）

目からウロコの宗教学入門—トトロはなぜ「となり」にいるのか、神がいるならなぜ世界に悪があるのか他

C4・水曜5限

根無 一信 (10回)

教材：教科書は使わない

①10/2、②10/9、③10/16、④10/23、⑤10/30、⑥11/6、⑦11/13、⑧11/20、⑨11/27、⑩12/4（予備日：12/11）

◆講師プロフィール

根無 一信 (ネム カズノブ)
京都大学博士（人間・環境学）
名古屋外国語大学 現代国際学部 国際
教養学科 准教授
哲学、宗教学、倫理学



◆講座の趣旨・目標

世界には様々な宗教が存在し、それぞれに固有の思想や実践を持っている。神や死後の世界という観念を持つ人々、坐禅や断食等の修行を行う人々が世界にはいる。宗教学にとって大事なのは、「神が存在するかどうか」「徳を積み重ねると本当に天国に行けるのか」「そもそも天国というものは存在するのか」といったことではなく、世界には確かにそういう観念を持ち、そういう実践を行う人々がいるという客観的な事実である。本講座を通して、宗教を客観的に理解する力を身につけて欲しい。

◆講座内容

この講座の前半5回は、宗教学の知見に基づいて「宗教とは何か」について考察する。多くの日本人は自分のことを「無宗教」「無神論」であると認識しているが、見方によっては非常に宗教的な日常生活を送っているといえることがわかるだろう。

- 第1回 パワースポットは「宗教」か
- 第2回 無神論の本来の意味とは
- 第3回 「宗教とは何か」を考えることの難しさについて
- 第4回 宗教の定義いろいろ
- 第5回 なぜ日本人は「無宗教」なのか？
講座の後半5回では宗教に関する個別的なテーマを扱い、民俗学や哲学などの分野にも目配りしつつ、全体として宗教についての理解を深めることを目指したい。
- 第6回 【宗教の実践】贈物を渡す時に「つまらないものですが」と言い添えるのはなぜか
- 第7回 【神義論】神がいるならなぜ世界に悪が存在するのか
- 第8回 【聖地巡礼】人はなぜ聖地へ向かうのか
- 第9回 【死生観】死後の幸福の条件は何か
- 第10回 【超越的存在者】トトロはなぜ「となり」にいるのか

◆自己紹介

1979年大阪生まれ大阪育ち。高校卒業後、無人島生活や八重山諸島放浪（18歳）、インド放浪（19歳）などを経て、徒歩と野宿で日本縦断（20歳）。その後、独学して京都大学へ進み、哲学研究者を志す（24歳）。2016年に哲学研究で博士号取得。特技は素潜り漁、サッカー、循環呼吸。趣味はキントレ、三線演奏、ハードロックとブルース鑑賞。

イタリアへ行く前の美術の予備知識と文化

C5・水曜6限

桑原 恒和 (10回)

教材：教科書は使わない、必要とされるもの：筆記用具

①10/2、②10/9、③10/16、④10/23、⑤10/30、⑥11/6、⑦11/13、⑧11/20、⑨11/27、⑩12/4 (予備日：12/11)

◆講師プロフィール

桑原 恒和 (クワハラ ツネカズ)
日本大学芸術学部美術学科卒、日本大学
芸術学部芸術研究所修了、イタリア・フィ
レンツェ美術学院 (アカデミア) 卒 ディ
プロマ (芸術・彫刻) 取得
名古屋外国語大学、名古屋芸術大学、榎
山女学園大学、名古屋文化学園保育専門
学校、南山大学エクステンション・カレッ
ジ他 講師
イタリア語、西洋美術史、児童絵画史



◆講座の趣旨・目標

Ciao! イタリアは芸術の国です。そこでは連続的に神業の様な作品を観ることが出来、真に美術鑑賞にどっぷりと浸ることも出来る場所です。そこでこの講座は、これからイタリアへと旅立つ前の予備知識として、ルネサンスの作品を中心に取り上げ、その前後、そして時には近代や現代の作家の作品とも比較しつつ、社会や宗教観の変化を踏まえた表現活動の発展過程をゆっくりと見て行きます。講師は日本の美大を卒業後、イタリアのトリノとフィレンツェのアカデミア (美術学院)、そしてアメリカ・ニューヨーク最古の美術学校ザ・アート・スチューデントズ・リーグで学んだことから、例えばマンハッタンに響き渡るサイレンの音を聞きながらメトロポリタン・ミュージアムの壁に掛かる中世・ルネサンス絵画を観る様な感覚と、あるいはフィレンツェ郊外の自分以外誰も居ないコレクションのなかで、ルネサンス期の清楚な女性を模った陶器のレリーフと二人きりになる様な感覚を皆さんに紹介します。イタリア美術を内側からと外側から、時間を飛び越えて、その魅力に触れましょう。随時、中世のキリスト教絵画や彫刻へと入る前に、講師が用意した近代や現代の作家・作品とも比較出来る様、それを取り上げ、あわせてイタリア文化も紹介して行きます。A presto!

◆講座内容

- 第1回 ビザンチン、ロマネスク、ゴシック、そしてチマブーエとジオット (プロト・ルネサンス)
- 第2回 ドッチオからスイモーネ・マルティエーニ (シエナ派・国際ゴシック様式について)
- 第3回 プルネッレスキとギベルティ、ドナテッロとマザッチオ (初期ルネサンス)
- 第4回 ロッピア兄弟、パオロ・ウッチェーロ、フラ・アンジェーリコとフィリッポ・リッピなど
- 第5回 ピエーロ・デッラ・フランチェスカ、アンドレア・デル・カスターニョ、ジョバンニ・ベッリーニ (それぞれの表現方法)
- 第6回 サンドロ・ボッティッチェリ (フィレンツェの栄枯盛衰)
- 第7回 ギルランダーイオとペルジーノ (当時のフィレンツェ市民の好みに応える大工房の仕事)
- 第8回 レオナルド・ダ・ヴィンチ (盛期ルネサンス・三巨匠の時代・職人からアーティストへ)
- 第9回 ミケランジェロ・ブオナローティ (マニエリスムの予兆)
- 第10回 ラファエッロ・サンツィオ (古典主義の確立) などを予定しております。

◆自己紹介

この作品は、NYの美術学校内で描きました。最上部の頭の部分が、クリップと、巻き上げた前のドローイングの紙の下であったことから、真つ平なのが分かります。クラスの先生は、もうイタリア語を話せないイタリア系の方で、フィレンツェのアカデミアから直に来て、イタリア人風の英語を話す私に大変親しみを持ってくれました。この学校は、大戦中までアメリカの画壇の第一線で活躍した国吉康雄氏が教えていた所でもあり、食堂では、アンリ・マティスのモデルだったと言う婦人と会うことも出来たものです。そして、かつていい女性画家の代表ジョージア・オキーフもいたことも誇らしいです。

生成AI・コーパスで親しむ英語の古文 (古英語・中英語講読)

C6・水曜6限

今井 康貴 (10回)

教材：参考書 (購入必須ではない) ベーシック英語史 ISBN: 978-4894763494 1,760円(税込)
<https://www.amazon.co.jp/ベーシック-英語史-家入-葉子/dp/4894763494>

①10/2、②10/9、③10/16、④10/23、⑤10/30、⑥11/6、⑦11/13、⑧11/20、⑨11/27、⑩12/4 (予備日：12/11)

◆講師プロフィール

今井 康貴 (イマイ ヤスタカ)
京都大学修士 (文学)
名古屋外国語大学言語教育開発センター外国語担当専任講師
英語史、英語学、コーパス言語学

◆講座の趣旨・目標

本講座では、500年から1500年程度昔に話されていた古い英語 (古英語・中英語) の代表的なテキストを実際に読みながら、現代英語との違いやつながりを学びます。生成AIやコーパス、オンライン辞書を活用し、受講者が自力でテキストを読解する能力を身につけることを目指します。言語を分析的に読む力を身につけると同時に、語彙・文法・文字・発音の歴史的变化について学びます。
英語史に興味がある方 (初学者大歓迎)、英語史概論の授業を受けたことがある方、ドイツ語やフランス語などの英語以外の言語を学んだことがある方、言語そのものに興味がある方など、いろんな方をお待ちしています。講義形式で網羅的に概説していく講座ではないので、受講前に参考書に挙げているような英語史の入門書を一読読み終えておく講座の理解が捗ります。

◆学習到達目標：

古英語と中英語のテキストを、語彙や文法を調べながら読解できるようになる。
生成AI、コーパス、オンライン辞書を活用して、古い英語のテキストを分析する方法を習得する。
英語の歴史的变化について理解を深め、現代英語との関連性を説明できるようになる。
言語を分析的に読む力を身につけ、他の言語学習にも応用できる視点を獲得する。

◆講座内容

- 第1回 古英語の概説
- 第2回～第5回 古英語テキスト講読
- 第6回 中英語の概説
- 第7回～第10回 中英語テキスト講読



ギリシア語に親しむ

C7・木曜5限

児玉 茂昭 (10回) 20名 (先着順)

教材：参考書 (購入必須ではない) ギリシア語のしくみ ISBN: 978-4560086728 1,870円(税込)
<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b206320.html>

①10/3、②10/10、③10/17、④10/24、⑤10/31、⑥11/7、⑦11/14、⑧11/21、⑨11/28、⑩12/5 (予備日：12/12)

◆講師プロフィール

児玉 茂昭 (コダマ シゲアキ)
京都大学修士・博士 (言語学)
名古屋外国語大学外国語学部英米語
学科准教授
印欧語比較言語学



◆講座の趣旨・目標

本講座で主に取り上げるのは、古典ギリシア語と呼ばれる紀元前5世紀から4世紀にかけてアテナイ周辺で用いられていたギリシア語の方言 (アッティカ方言) です。ギリシア語は、ヨーロッパの言語の中でも最も古い記録が残る言語であるとともに、古典期には哲学や文学の言語として、その後は学術や宗教の言語として非常に重要であり、ラテン語と並んでヨーロッパの文化の基礎とされるようになりました。この講座では、上記のいわゆる「古典ギリシア語」を中心に、時間を1500年程度前後して、この言語に関わる様々な事柄について学ぶこととします。

◆講座内容

- 第1回 オリエンテーション、古典ギリシア語の概要、古典ギリシア語の文字と発音
- 第2回 文法1: 名詞の曲用
- 第3回 文法2: 動詞の活用
- 第4回 文法3: 動詞の活用の続き、接続詞、副詞など
- 第5回 講読1: 警句・ことわざなどの文章
- 第6回 講読2: 歴史・哲学の文章
- 第7回 講読3: 詩・劇の文章
- 第8回 ギリシア語の歴史1 (古典ギリシア語まで)
- 第9回 ギリシア語の歴史2 (コイネーから現代ギリシア語まで)
- 第10回 ギリシア語の後世への影響

◆自己紹介

この講座を担当する児玉です。大学では、古典ギリシア語やラテン語・英語などを含むインド・ヨーロッパ語族という大言語グループの過去の姿を現在残されている様々な言語から再建するインド・ヨーロッパ語比較言語学という分野を専攻していました。古典ギリシア語は、非常に複雑な文法を持ち取り組むのにやや骨が折れるのですが、その分文章が読めた時の感動はひとしおです。興味を持たれましたら是非ご参加ください。

ソ連・ロシア映画でみる食事コミュニケーション—我々はどこで食べるのか、我々は何を口にするのか、我々は何を話すのか—

C8・木曜5限

杉山 真央 (10回)

教材：教科書は使わない

①10/3、②10/10、③10/17、④10/24、⑤10/31、⑥11/7、⑦11/14、⑧11/21、⑨11/28、⑩12/5 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

杉山 真央 (スギヤマ マオ)
大阪大学博士 (言語文化学)
名古屋外国語大学講師
政治ディスコース

◆講座の趣旨・目標

本秋講座では、ソ連・ロシア映画に描かれた食事シーンに注目し、その場面の役割と人々のコミュニケーションの構築について考察します。食事は私たちの生活に欠かせない日常的な行為ですが、映画ではしばしば「生と死」や「エロティシズム」を象徴する行為として描かれます。日常的な行為として組み込まれた食事や料理は、無意識の中で通過儀礼としての役割を果たし、コミュニケーションの一環を担っています。食事を留意する人物の立場や、調理する場所の環境も重要な要素です。この講座では、ソ連・ロシア映画における食事の場面を通じて人々の関係性を探り、そのプロセスと意味を考察します。それにより、現代社会や国際関係における食事コミュニケーションのヒントを得て、人と人との関係性の構築に役立てることを目指します。

◆講座内容

第1回 イントロダクション: 「食」を観るとは?、講座の目的と概要の説明

- 第2回 人間の尊厳と意志: スイッチングとしての「食」(映画/『戦艦ポチョムキン』、『人間の運命』)
- 第3回 父親と子の関係 (1): 親子関係の構築 (映画/『父帰る』、『チェブラーシュカ (2023年版)』)
- 第4回 父親と子の関係 (2): 親子間の信頼構築 (映画/『木が大きかったころ』、『モスクワは涙を信じない』)
- 第5回 日常と食事 (1): 虚構の宴、家庭の空間 (映画/『モスクワは涙を信じない』)
- 第6回 日常と食事 (2): 異性間の関係性 (映画/『職場恋愛』)
- 第7回 共同生活における「食事」の空間 (映画/『スチリャーギ』)
- 第8回 社会的儀式における「食事」の文化 (映画/『カフカスの虜』、『運命の皮肉』)
- 第9回 現代社会・国際関係における食事の意味と役割、映画を通じて学ぶ食事コミュニケーションのヒント
- 第10回 まとめ: 「食」を観るとは?、ディスカッション

ロシア語スクリプトを配布し、それに日本語訳をお付けいたします。それぞれの映画の時代背景、価値観、人物関係、そしてセリフに着目し、「食」を通じてコミュニケーションの理解を深めることを目的とします。映画に描写されるロシア文化や食文化、さらにはロシア語の表現にも触れることで、私たちの日常生活と異文化に対する視野を広げ、人と食におけるコミュニケーションの在り方について新たな「気付き」を得ることを目指します。

外国語の習得を考える — 外国語教師の基礎知識として —

C9・木曜6限

坂本 正 (10回)

教材：教科書は使わない

①10/3、②10/10、③10/17、④10/24、⑤10/31、⑥11/7、⑦11/14、⑧11/21、⑨11/28、⑩12/5 (予備日：12/12)

◆講師プロフィール

坂本 正 (サカモト タダシ)
米国ボストン大学大学院博士 (教育学)
名古屋外国語大学大学院特任教授
日本語教育学、第二言語習得論

◆講座の趣旨・目標

人はどのように外国語を身に付けていくのであろうか。これまで出ている主な習得理論を概観し、ことばの習得というものをいろいろな視点から考えてみたい。外国語を学びたい人、ことばを教えている人にとっては様々な知見が得られる講義になっている。

◆講座内容

- 第1回 オリエンテーション、第一言語習得の特徴
- 第2回 言語習得の理論：行動主義的な考え方
- 第3回 言語習得の理論：生得主義的な考え方
- 第4回 言語習得の理論：相互交流主義的な考え方

第5回 対照分析仮説から中間言語仮説まで：その1

第6回 対照分析仮説から中間言語仮説まで：その2

第7回 Krashen (1977) のモニター理論：五つの仮説

第8回 アウトプットの仮説と認知的アプローチ

第9回 第二言語習得における個人差：知性、適性、学習スタイル、性格

第10回 第二言語習得における個人差：動機づけ、ピリーフ、開始年齢と臨界期

◆自己紹介

外国語教育の基礎となる言葉の習得に関する講義ですが、受講生の皆さんと一緒に楽しく学んでいきたいと思えます。外国語教育、特に日本語教育に関心のある方にとっては、英語だけではなく、日本語の例もたくさん出てきますので、有益な講義になると思えます。これまでのご自身の外国語教育の教え方を振り返るいい機会になり、新しい有益な知見もたくさん得られると思えます。

Introduction to Sustainable Development Goals (SDGs)

C10・金曜6限

マージョリー・リズエロ (10回)

教材：教科書は使わない

①10/4、②10/11、③10/18、④10/25、⑤11/1、⑥11/8、⑦11/15、⑧11/22、⑨11/29、⑩12/6 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

Marjorie Resuello (マージョリー・リズエロ)
PhD in International Development,
Nagoya University (Completed)
Master in Development Management
and Governance, University of the
Philippines Los Banos
Bachelor of Science in Development
Communication, University of the Philippines Los Banos
Lecturer, Nagoya University of Foreign Studies
Sustainable Development, Foreign Language Education,
Governance



◆講座の趣旨・目標

This course is for anyone who wants to understand what the Sustainable Development Goals (SDGs) are and why they are important. This course aims to discuss the key concepts of SDGs and empower learners with English skills to discuss global issues. The case studies and inquiry-based discussions in the class will help students to develop global awareness, critical thinking skill, and problem-solving skill.

◆講座内容

The course will cover the following lessons and activities:

- Understanding the SDGs
- The SDGs and Social Issues in the World
- “Think Global, Act Local”
- SDGs Case Studies

◆授業の使用言語

英語

◆英語講座の対象レベル

Students with beginner to advanced English skills are welcome.

◆自己紹介

Hello, I am Marjorie! I am from the Philippines. I am passionate about development in our society. I think we can help even in little ways, such as having awareness about the Sustainable Development Goals (SDGs). Let us get to know more about each other and the SDGs in our class!



写真比較から学ぶネパール文化基礎講座

L1・月曜5限

アスタ・トゥラダール (10回) 25名 (先着順)

教材：教科書は使わない、参考書はクラスで紹介します

①9/30、②10/7、③10/21、④10/28、⑤11/11、⑥11/18、⑦11/25、⑧12/2、⑨12/9、⑩12/16 (予備日：12/23)

◆講師プロフィール

Astha Tuladhar (アスタ・トゥラダール)
名城大学博士 (農学)
聖心女子大学グローバル共生研究科
客員研究員
園芸学、第二言語として英語教育



第10回 比較 (写真ページ24、25)
ビデオをみる機会も多いです。

◆授業の使用言語
日本語

◆講座の趣旨・目標

ネパールのことをもっと勉強したい、日本の文化と比べながら詳細な日常なことから深入りして行く、写真比較方式を使用。

◆自己紹介

生まれはネパールのカトマンズ市。主に、日本の中部地方で活動しています。春休みや夏休み中はネパールへ一時帰国する習性がある。日本語、英語、ネパール語とネワール語で会話することだけではなく歌も好んで歌うタイプです。大学では英語のクラスを担当していて実はいろんなことを学んでいます。最近では都市部の食用緑化について演習型授業も担当しています。日中は教室に入っているか、図書館の隅っこで勉強しているか、パソコン画面をじっと見て座っていることが多いが夕方になると多言語で話し、世界中に暮らす家族や友人と情報交換しています。最近では名古屋市でも同国の国民が働いていることが多い。この講座をきっかけに多くの方に母国のことだけではなく、長く暮らして知った日本文化と「共通点」や「違い」を伝える学びの多い講座を作りました。受講生はネパールについて広く学ぶことができるでしょう。

◆講座内容

- 第1回 ネパールってどんな国?
- 第2回 比較 (写真ページ1、2、3)
- 第3回 比較 (写真ページ3、4、5)
- 第4回 比較 (写真ページ6、7、8)
- 第5回 比較 (写真ページ9、10、11)
- 第6回 比較 (写真ページ12、13、14)
- 第7回 比較 (写真ページ15、16、17)
- 第8回 比較 (写真ページ18、19、20)
- 第9回 比較 (写真ページ21、22、23)

中国語入門2

L2・月曜6限

周素芬 (シュウ・ソウフン) (10回)

教材：教科書 (購入必須) グッと入門中国語 ISBN: 978-4-7647-0728-3 2,000円(税込) ネット購入と本屋

①9/30、②10/7、③10/21、④10/28、⑤11/11、⑥11/18、⑦11/25、⑧12/2、⑨12/9、⑩12/16 (予備日：12/23)

◆講師プロフィール

周素芬 (Chou Sufen) (シュウ・ソウフン)
名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士
名古屋外国語大学 中国語講師
中国語 (通訳)

- 第4回 “喜欢”) 第7課 [私は夜11時に寝ます。] 課文、文法練習、決まり文句
- 第5回 第8課 [私は中日辞典を一冊買いに行きたい。] 新出単語、語法 (助動詞“想, 会”)
- 第6回 第8課 [私は中日辞典を一冊買いに行きたい。] 課文、文法練習、決まり文句
- 第7回 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています。] 新出単語、語法 (介詞“给, 对”)
- 第8回 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています。] 課文、文法練習、決まり文句
- 第9回 第10課 [冬休みあなたはどこに行きましたか。] 新出単語、語法 (経験を表す“过”完了の“了”)
- 第10回 第10課 [冬休みあなたはどこに行きましたか。] 課文、文法練習、決まり文句

◆講座の趣旨・目標

中国語入門は発音の基礎短い会話からスター、基本的な文法学習のを通じて、中国語の能力を身につけるための学習を進める。置換練習や短い会話文の音読練習。練習問題に取り組み、「読む、聞く、話す、書く」能力を身につける。

◆講座内容

- 第1回 前期の復習
第6課 [食堂は図書館の向かいにあります。] 新出単語、語法 (場所代名詞、方位詞)
- 第2回 第6課 [食堂は図書館の向かいにあります。] 課文、文法練習、決まり文句
- 第3回 第7課 [私は夜11時に寝ます。] 新出単語、語法 (時刻、

◆授業の使用言語
日本語

タイ語初級 (0からタイ語)

L3・月曜6限

寺田 ダラポン (10回)

教材：参考書（購入必須ではない）「実用タイ語会話1」三訂版 佐藤正文著 ISBN: 978-4-906224-96-8 4,271円(税込)

①9/30、②10/7、③10/21、④10/28、⑤11/11、⑥11/18、⑦11/25、⑧12/2、⑨12/9、⑩12/16 (予備日：12/23)

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン (テラダ ダラポン)
三重大学修士 (教育・数学)
名古屋大学 博士論文 (研究生、教育・
数学)
愛知大学 (タイ語・非常講師)
名古屋外国語大学 (タイ語・非常講師)



◆講座の趣旨・目標

初めてタイ語を学習する方を対象に基本的な文法の知識を学びながら、タイ語の基礎作りをすることです。日常生活の挨拶、簡単な質問に答えることができる。簡単なタイ語を話す、聞く、読む、書くことができる。単語の発音ができること。

◆講座内容

第1回 私はタイのお菓子が好きです。
第2回 先生は生徒に菓子を配りました。

第3回 この本はおもしろくて役に立つ。
第4回 大きい車はガソリンを食う。
第5回 私は学校が始まる日を忘れました。
第6回 父はホテルで働いています。
第7回 中国語はそれほど難しくありません。
第8回 今日は土曜日ではありません。
第9回 あなたは何語の新聞をとっていますか。
第10回 今日は用事があるんじゃないの

◆授業の使用言語

日本語

◆自己紹介

タイの大学を卒業し、5年間フィリピンに留学、その時 America Air froce でタイ語の講師を務めました。31年前に、日本へ来ました。2001年から今まで三重県でタイ語の通訳人を務めています。どうぞよろしく願いいたします。

ロシア語初級完成

L4・月曜6限

イーホル・ダツェンコ (10回)

教材：教科書（購入必須）中島由美、黒田龍之助、柳町裕子『ロシア語へのパスポート』白水社 ISBN: 978-4560016299

①9/30、②10/7、③10/21、④10/28、⑤11/11、⑥11/18、⑦11/25、⑧12/2、⑨12/9、⑩12/16 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

Datsenko Ihor (ダツェンコ・イーホル)
ウィーン大学博士 (歴史学)
名古屋外国語大学非常勤講師
歴史

◆講座の趣旨・目標

ロシア語を初めて学ぶ方を対象に、一貫した授業計画に基づいてロシア語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。また、ロシア語世界が身近になるよう、視聴覚メディアなどを通じて文化・風俗・歴史・社会事情等についても学びます。

◆講座内容

第1回 「行く」、「来る」動詞を勉強しましょう。
第2回 所有の表現を使って会話をしましょう。
第3回 色々な持ち物を覚えましょう。
第4回 曜日の表現を使って会話をしましょう。
第5回 明日の予定について話しましょう。
第6回 どこに住んでいますか？どこで働きますか？
第7回 色々な場所について話しましょう。
第8回 ロシアの歴史に触れてみましょう。
第9回 動詞の過去形を使って、会話をしましょう。
第10回 色々な会話を読みながら復習しましょう。

◆授業の使用言語

日本語



少し学んだ方のイタリア語 初中級

L5・火曜6限

アナスタージャ・ブンドック (10回)

教材：教科書（購入必須）オペラ・プリマ2（第2版） 朝日出版社 ISBN: 978-4-255-55320-7 2,860円(税込)
Amazon や書店などで入手可能です。必要とされるもの：筆記用具

①10/1、②10/8、③10/15、④10/22、⑤10/29、⑥11/5、⑦11/12、⑧11/19、⑨11/26、⑩12/3（予備日：12/10）

◆講師プロフィール

Anastazija VUNDUK（アナスタージャ・ブンドック）

イタリア国立フィレンツェ美術学院（アカデミア）絵画科、Irene di Spilimbergo 卒 イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得

名古屋外国語大学、愛知県立明和高等学校音楽科、南山大学エクステンション・カレッジ、星城大学オープン・カレッジ、朝日カルチャーセンター名古屋教室に於いてイタリア語講師、中日文化センター栄教室に於いてクロアチア語講師

イタリア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



オペラへ行く場面の会話

第3回 再帰動詞、近過去形、冠詞前置詞、相対最上級と絶対最上級、時間の前後の言い方

第4回 練習問題と応用会話

第5回 ヨーロッパで最も古く、美しいナポリのサン・カルロ劇場について

第6回 第2課「ほら、ほら、我々もう出発しよう！」

第7回 旅で持って行くものの名称、物の配置を言う前置詞について

第8回 近過去形 + 副詞、不規則な過去分詞、部分冠詞の複数形、語尾が -co と -ca で終わる形容詞の複数形について

第9回 練習問題と応用会話

第10回 ミステリアスなプーリア州の八角形（キリスト教における再生を表す）の城

以上を予定しておりますが、ゆっくりと丁寧に授業を進めます。

◆講座の趣旨・目標

Ciao! 本校、学部生の会話クラスで使っている教材は、イタリア語と文化の普及を目的とするイタリア政府機関であるイタリア文化会館編集のものであり、挿絵や写真、付属の映像も美しい教科書です。その中から今期は、再帰動詞（行為者が、行為者自身に動作を及ぼす）、近過去形（毎回、完了する動作もしくは、一回限りの動作）、冠詞前置詞（特定の前置詞 + 定冠詞の結合形）、相対最上級（～の中で一番だ!）と絶対最上級（最高に～だ!）、近過去形に於ける副詞の位置（通常、副詞は複合時制に於ける助動詞 essere もしくは avere の活用変化と過去分詞の間に挟まれますが、強調では過去分詞の後となる）、部分冠詞の複数形（特定しない、いくつかの～を表す）等の基礎文法事項をゆっくりと応用会話、文化の紹介も交えながら楽しく学びます。学部生の方々の学び直しにもぜひ御活用下さい。A presto!

◆授業の使用言語

イタリア語、日本語

◆自己紹介

Ciao! 私はフィレンツェ・アカデミアの絵画科で学んでいた時、次は直接、色自身を手に取り制作出来たらと思い、モザイク画技法も学びました。そして、イタリアを代表するマエストロ Giulio Candussio 氏に師事し、工房に於いて修行しました。日本に来てからは、いくつかの小作品の制作と共に、名古屋市東区白壁にある名古屋文化学園・文化幼稚園の正面入り口に「出会いと旅立ち、そしてまた新たな出会い」を表現する、画面に出入りする四頭の馬をモチーフにしたモザイク画のモニュメントを制作しました。近年では、JA 愛知厚生連・稲沢厚生病院の中庭に、空に昇る大きな葉っぱの形をした4体のモニュメント「アドリア海」「星座」「火山」「麦」を制作しました。当病院ホーム・ページ右上からも、それをご覧になれます。古代ローマ時代には、食卓用の大きな木のテーブルの下には、色々な高級食材の食べこぼしをモチーフとしたモザイク画が描かれていました。その床を見た客人は、その家の豊かさをそこで推し量ったと言われます。Che divertente!

◆講座内容

毎回、基礎文法事項の分かり易い解説を基に、練習問題と、その応用会話を通して身に付けて行きます。

第1回 第1課「我々はどこで会う？」

第2回 建物の名称、イタリアの州と都市、友人と待ち合わせ、

韓国語入門2

L6・火曜6限

李惠敏 (Lee Hyemin) (10回) 20名 (先着順)

教材：教科書は使わない

①10/1、②10/8、③10/15、④10/22、⑤10/29、⑥11/5、⑦11/12、⑧11/19、⑨11/26、⑩12/3（予備日：12/10）

◆講師プロフィール

李惠敏 (Lee Hyemin) (リ・ヘミン)

名古屋大学修士
名古屋外国語大学非常勤講師
韓国教育法教授法

◆講座内容

第1回 平叙文疑問文 こんにちは。よろしく願い致します。

第2回 「한다」体 「～である」体初めが肝心だ。

第3回 現在進行形 私は今掃除をしています。

第4回 過去形 私の友達は昨日誕生日でした。

第5回 回想連体形 昨日映画をみにいきました。

第6回 先着表現 ソウルに行って友達に会いました。

第7回 逆接表現 私はスポーツが好きですが、先輩は音楽が好きです。

第8回 変則活用 道をお尋ねしました。

第9回 約束推測表現 今日の夕食は私が作ります。

第10回 義務表現 今日中にしなければなりません。

◆講座の趣旨・目標

少し韓国語の基礎がある方、韓国語入門1の学習をされた方が対象になります。少し韓国語が出来る基で韓国語入門2では文法の勉強をしながら、沢山の単語や文法に接する勉強を通じて少しでも会話ができるように学習を進めます。文法や会話の勉強だけでなく文化の紹介などを加えることでもっと韓国語に親しくなるように授業を行います。

◆授業の使用言語

日本語、韓国語

フランス語入門2

L7・火曜6限

ジェローム・パク (10回)

教材：教科書（購入必須）『バザバ：話せて書けるフランス語入門』三修社 ISBN:978-4384220537 2,750円（税込）
<https://www.sanshusha.co.jp/text/isbn/9784384220537/>

①10/1、②10/8、③10/15、④10/22、⑤10/29、⑥11/5、⑦11/12、⑧11/19、⑨11/26、⑩12/3（予備日：未定）

◆講師プロフィール

Jérôme Paccoud (ジェローム・パク)
アンジェ大学修士（フランス語教育学）
名古屋外国語大学准教授
フランス語教育学



◆講座の趣旨・目標

この講座は初心者を対象とした春期の講座の続きです。この講座ではフランス語の基礎力を習得すると同時に、フランス語話者との日常会話に必要な文化的側面も学びます。

◆講座内容

- 第1回 基礎事項の再確認
- 第2回 第6課：知らせを伝える。文法項目：動詞 aller/venir, partir の使用を学ぶ
- 第3回 第6課：絵葉書を書く。文法項目：場所の前置詞

- 第4回 第7課：買い物をする。文法項目：動詞 avoir と être
- 第5回 第7課：量を表す。文法項目：比較
- 第6回 第7課：丁寧に尋ねる、比較する。文法項目：部分冠詞
- 第7回 第8課：健康状態を表現する。文法項目：命令形の作り方
- 第8回 第8課：助言を受ける。文法項目：否定命令文
- 第9回 第9課：旅行の計画を立てる。文法項目：近接未来
- 第10回 第9課：自分の計画について話す。文法項目：進行形現在

◆授業の使用言語

英語、フランス語

◆自己紹介

私はフランス・グルノーブルの出身です。春期に続いてフランス語を楽しく学ぶ講座です。春期を受講した人でなくても、どこかでフランス語を少しやったことがあり、教科書の6課からついていける人なら大歓迎です。昔フランス語をやって、忘れてしまった人も、この講座でなら楽しくフランス語を勉強できます。

様々なテーマに関して英語で話してみよう

L8・水曜5限

柴田 直哉 (10回)

教材：教科書は使わない

①10/2、②10/9、③10/16、④10/23、⑤10/30、⑥11/6、⑦11/13、⑧11/20、⑨11/27、⑩12/4（予備日：未定）

◆講師プロフィール

柴田 直哉 (シバタ ナオヤ)
名古屋外国語大学修士（英語学・英語教育学）
Doctor of Education in Teaching English to Speakers of Other Languages, Anaheim University
名古屋外国語大学（言語教育開発センター）講師
英語教育

◆講座の趣旨・目標

授業は基本的に英語で実施される。学生たちは4技能を用いて意味内容中心のコミュニケーション活動を通し、ターゲットグラマーがどのようなコンテキストで使うことができるのかを学び、習得する。

◆講座内容

- 第1回 ガイダンス・Communication（ブレインストーミング・

フリーライティング）

- 第2回 Communication（時制：現在）
- 第3回 Friendship（時制：過去）
- 第4回 Health（時制：未来）
- 第5回 Environment（助動詞）
- 第6回 Steve Jobs（仮定法）
- 第7回 Fashion（現在分詞・過去分詞）
- 第8回 Food（関係代名詞）
- 第9回 Travel（言い換え及び省略の仕方）
- 第10回 Study Abroad（比較）

◆授業の使用言語

英語

◆英語講座の対象レベル

初中級レベル



トルコ語入門2

L9・水曜6限

ガムゼ・ケツレ (10回)

教材：教科書は使わない

①10/2、②10/9、③10/16、④10/23、⑤10/30、⑥11/6、⑦11/13、⑧11/20、⑨11/27、⑩12/4 (予備日：12/11)

◆講師プロフィール

Gamze Kelle (ガムゼ・ケツレ)
名古屋大学大学院 人文学研究科 言語・文化学 (修士課程)
名古屋大学大学院 人文学研究科 日本文化学 (博士課程)
日本文化学

◆講座の趣旨・目標

初心者の方、トルコ語を少し学ばれた方は対象です。この講座は春期の講座の続きですが、初めての方も大歓迎です。トルコ語での会話スキルが中心で、会話に必要な基礎文法・語彙を練習し、コミュニケーション力を身につけることを目指します。聴解・読書教材を利用し、様々なテーマについて自分の意見・感想を表現できることが目標です。また、さまざまな場面でトルコの文化慣習に触れて、トルコについての知識が深まります。この講義では、パワーポイントを使用し、映像や音声資料を適宜活用します。

◆講座内容

第1回 「トルコ語で自己紹介してみましょう」「挨拶・簡単な自己紹介の言葉、アルファベット」
第2回 「これは何ですか」指示詞、最初の単語「これはBです」

「これは何ですか?」、否定「～じゃありません」、「街に何がありますか。」～がある ～がない ～がありますか。

- 第3回 「お元気ですか」「人称の付属語、疑問、否定」
- 第4回 「趣味について話しましょう。」行形「～している」「～していない」「～していますか」
- 第5回 「日課について話しましょう」「進行形続き、時間の言い方」
- 第6回 「昨日は何をしましたか。」過去形「～した」「～しなかった」「～したか。」
- 第7回 「先週は何をしましたか」過去形続き、「～した後」「～する前」
- 第8回 「子供の頃の思い出を語りましょう」「～とき～していました」
- 第9回 「昔の自分と今の自分を比較しましょう」「～でした、ではありませんでした、でしたか」
- 第10回 まとめ

◆授業の使用言語
日本語

How Languages are Learned: An Introduction to Language and Mind

L10・水曜6限

ベッキー・アルプ (10回)

教材：教科書は使わない

①10/2、②10/9、③10/16、④10/23、⑤10/30、⑥11/6、⑦11/13、⑧11/20、⑨11/27、⑩12/4 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

Becky Alp (ベッキー・アルプ)
MA in Media and Communication
EFL Lecturer
Cognitive Neuroscience and Languages

- 6. Memory
- 7. Attention and Perception
- 8. Presentations
- 9. Presentations
- 10. Review

◆講座の趣旨・目標

This course discusses the role of the brain in language learning.

◆授業の使用言語
英語

◆講座内容

The course follows these points

◆英語講座の対象レベル
Higher Intermediate to Advanced level

- 1. Introduction to how languages are learned Part I
- 2. Introduction to how languages are learned Part II
- 3. Neuroscience and languages
- 4. How languages shape our thoughts I
- 5. How languages shape our thoughts II

◆自己紹介
Berke Alp has an MA in Media and Communication and has been teaching English and Intercultural Communication classes for 10 years. Her research interest is in Cognitive Neuroscience.

中国語初級2

L11・木曜6限

周素芬（シュウ・ソウフン）（10回）

教材：教科書（購入必須）初級 中国語で おもてなし ISBN: 978-4-7647-0735-1（改訂版） 2,400円（税込）ネット購入と本屋

①10/3、②10/10、③10/17、④10/24、⑤10/31、⑥11/7、⑦11/14、⑧11/21、⑨11/28、⑩12/5（予備日：12/12）

◆講師プロフィール

周素芬（Chou Sufen）（シュウ・ソウフン）
名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士
名古屋外国語大学 中国語講師
中国語（通訳）

◆講座の趣旨・目標

中国語初級者に対して基本的な文法の知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることです。日常の挨拶、簡単な質疑応答ができるように。

◆講座内容

第1回 前期復習、第6課 我家在名古屋 文法（“离”、“从～到”）
第2回 第6課 練習問題、発展練習問

第3回 第7課 我不会游泳 文法（前詞置“在”、“会、能”）
第4回 第7課 練習問題、発展練習問題
第5回 第8課 你暑假去了什么地方？ 文法（動詞+的+“名詞”）
第6回 第8課 練習問題、発展練習問題
第7回 第9課 你怎么戴着口罩？ 文法（推量を表す、状態持続を表現）
第8回 第9課 練習問題、発展練習問題
第9回 第10課 我是和社团的朋友一起去的。文法（“是～的”構文、方向補語）
第10回 第10課 練習問題、発展練習問

◆授業の使用言語
日本語

Exploring the Philippine Culture and Tagalog Language

L12・木曜6限

マージョリー・リズエロ（10回）

教材：教科書は使わない

①10/3、②10/10、③10/17、④10/24、⑤10/31、⑥11/7、⑦11/14、⑧11/21、⑨11/28、⑩12/5（予備日：未定）

◆講師プロフィール

Marjorie Resuello（マージョリー・リズエロ）
PhD in International Development,
Nagoya University (Completed)
Master in Development Management
and Governance, University of the
Philippines Los Banos
Bachelor of Science in Development
Communication, University of the Philippines Los Banos
Lecturer, Nagoya University of Foreign Studies
Sustainable Development, Foreign Language Education,
Governance



◆講座の趣旨・目標

You may have known Philippines as a tropical country of bananas, destination for English study tour and beach holidays, English-speaking population, and so on. There is more to learn about the Philippines. This course aims to showcase the rich cultural heritage of the Philippines and its national language, Tagalog. The students will learn and enjoy Philippine culture and language represented in values, foods, festivals, traditional clothes, dances, music, games, and so on.

◆講座内容

Each class will provide a general overview of the culture in the Philippines and Tagalog communication practice by learning Filipino vocabularies and expressions. The contents of the classes are as follows:

- The Philippines: Geography, History, and General Information
- Filipino Values
- Festivals in the Philippines
- Traditional Games in the Philippines
- Original Pinoy Music (Filipino Songs)
- Talented Filipinos (Famous Filipinos around the World)
- Tourist Spots in the Philippines
- Eats More Fun in the Philippines (Filipino Cuisines)

◆授業の使用言語
英語

◆英語講座の対象レベル

Students with beginner to advanced English skills are welcome.

◆自己紹介

Hi, I am Marjorie! I am from the Philippines. As a Filipina, I would like to introduce about my culture and language. There is so much more to learn about my country. Let us explore the Philippines and learn Tagalog!



始めたばかりのイタリア語 初級

L13・金曜6限

アナスタージャ・ブンドック (10回)

教材：教科書(購入必須)「ボナベティート！」朝日出版社 ISBN: 978-4-255-55319-1 2,750円(税込)
Amazon や書店などで入手可能です。必要とされるもの：筆記用具

①10/4、②10/11、③10/18、④10/25、⑤11/1、⑥11/8、⑦11/15、⑧11/22、⑨11/29、⑩12/6 (予備日：12/13)

◆講師プロフィール
Anastazija VUNDUK (アナスタージャ・ブンドック)
イタリア国立フィレンツェ美術学院(アカデミア)絵画科、Irene di Spilimbergo 卒。イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得
名古屋外国語大学・愛知県立明和高等学校音楽科、南山大学エクステンション・カレッジ、星城大学オープン・カレッジ、朝日カルチャーセンター名古屋教室に於いてイタリア語講師、中日文化センター栄教室に於いてクロアチア語講師
イタリア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



◆講座の趣旨・目標
Buongiorno! イタリア語を初めて学ばれる方、あるいはもう一度基礎から学ばれたい方が対象の初級クラスです。分かり易い最新の教材を基に、ゆっくりと丁寧に、基礎文法事項を練習問題と、その応用会話と共に楽しく学びます。イタリア語は必ず A、E、I、O、U の母音で終わることや、語尾まではっきりと発音することなど、日本語と同じであり、音楽用語の多くがイタリア語であることから、その抑揚はとても音楽的で、イタリア語を話すとあたかも歌っているかの様な気分になります。今回は、今年度春期で学んだ事の復習から始まり、次に動詞・現在形の不規則変化、前置詞、前置詞+定冠詞である冠詞前置詞、「誰々の～」を表す所有形容詞、前置詞+人称代名詞(強勢形となる)、名詞に先行する疑問形容詞等の文法事項を学びます。このクラスは今年度、春期にスタートした継続クラスとなりますが、今期から通われる方も大歓迎です。一緒に楽しみましょう！
A presto!

◆講座内容
毎回、基礎文法事項の分かり易い解説と共に、その練習問題、応用会話を通して身に付けて行きます。

- 第1回 第5課「私はシチリアへ行きます」予定について尋ねる、説明する会話表現
 - 第2回 郷土主義とイタリア人のヴァカンスについて
 - 第3回 -are 動詞の現在形・不規則変化、前置詞、冠詞前置詞について
 - 第4回 練習問題と応用会話
 - 第5回 第6課「君も来る？」誰かを誘う言い方
 - 第6回 イタリアの世界遺産と永遠の都ローマについて
 - 第7回 -ere 動詞、-ire 動詞の現在形・不規則変化、所有形容詞、人称代名詞(強勢形)、疑問形容詞
 - 第8回 練習問題と応用会話
 - 第9回 第7課「君は、私を送ることが出来る？」希望や可能性について言う
 - 第10回 カトリック教とヴァチカン市国について
- 以上を予定しておりますが、ゆっくりと、丁寧に授業を進めます。

◆授業の使用言語
イタリア語、日本語

◆自己紹介
第二次世界大戦終了まではイタリア王国、次にユーゴスラヴィア、そして現在ではクロアチア共和国領である、イストリア半島先端の町、プーラに在る私の実家の窓からは、世界で4番目に大きい古代ローマの円形競技場が見えます。それは唯一、海(真つ青なアドリア海!)に面していることと、今でも大理石で覆われているとても良いコンディションであることが特徴です。実際、私の家が入っている建物の地下には、アリーナに登場する古代のライオンの通り道が見つかりました。そしてこの町では、掘るとすぐに古代文明の遺跡が見つかります。気候の良さからか、多くの文明が蓄積され、人の歴史の磁場を感じさせます。そして夏のバカンスのシーズンには、ヨーロッパ中の人が集まり、多くのコンサートや劇が催され、その音が連日にぎやかに聞こえて来るものです。透き通った教会の鐘の音と共に楽しい雰囲気包まれます。

スペイン語初級中級2

L14・金曜6限

中川 智彦 (10回) 14名(先着順)

教材：教科書(購入必須)小池和良(KOIKE Kazumi)『改訂版・多国籍スペイン語入門』(同学社) ISBN: 978-4-8102-0386-8 2,750円(税込)
大手書店で取り寄せ購入されるか、インターネットで出版社から直接または、大手書店のネット書店での購入をお勧めします。

①10/4、②10/11、③10/18、④10/25、⑤11/1、⑥11/8、⑦11/15、⑧11/22、⑨11/29、⑩12/6 (予備日：12/13)

◆講師プロフィール
中川 智彦 (ナカガワ トモヒコ)
筑波大学修士(国際学)
名古屋外国語大学・愛知県立大学・南山大学ほか非常勤講師
ラテンアメリカ地域研究



◆講座の趣旨・目標
2024年度春期開講の「スペイン語初級中級1」クラスの後継クラスですが、これまでにスペイン語に触れ、発音の特徴や現在形と過去形などの学習経験がある方なら、どなたでも受講できます。発音に慣れない方も、聞き取りやすく、しかも、書き間違いを防ぐための発音練習方法を丁寧に指導しますので、すぐに、豊かな押韻を特徴とする美しいスペイン語の響きを楽しめるほどの自信をつけて頂けると思います。文法は、継続使用中のテキストに沿って、現在形・過去形に加えて、未来形や過去未来形を重点的にマスターします。

◆講座内容
第1回 Unidad 11: 未来のことや推測事を話す<直説法未来とその用法(1): 未来>
第2回 Unidad 11: 未来のことや推測事を話す<直説法未来とその用法(2): 推測>
第3回 Unidad 11: 未来のことや推測事を話す<直説法未来とその用法(3): 総合練習>
第4回 Unidad 12: 過去から見た未来のことや婉曲的に話す

- 第5回 <直説法過去未来とその用法(1): 過去未来>
Unidad 12: 過去から見た未来のことや婉曲的に話す
 - 第6回 <直説法過去未来とその用法(2): 婉曲表現>
Unidad 12: 過去から見た未来のことや婉曲的に話す
 - 第7回 <直説法過去未来とその用法(3): 総合練習>
Unidad 13: 経験や完了・継続事項を話す<直説法現在完了とその用法(1): 過去分詞>
 - 第8回 Unidad 13: 経験や完了・継続事項を話す<直説法現在完了とその用法(2): 完了過去複合形>
 - 第9回 Unidad 13: 経験や完了・継続事項を話す<直説法現在完了とその用法(3): 総合練習>
 - 第10回 現在・未来・過去・過去未来と時制総復習: ヒアリングとロールプレイ
- 毎回ラテン音楽のヒアリングの時間を持つ予定
全10回でこの範囲を学習予定ですが、余裕を持たせてありますので、皆さんの要望に応じて、臨機応変に進めていきます。

◆授業の使用言語
日本語

◆自己紹介
中川智彦 Nakagawa Tomohiko. 南山大学外国語学部イスパニヤ科出身。筑波大学大学院在学中に、チリ大学国際問題研究所へ特別交換プログラムで約10か月間留学経験あり。現在は、名古屋外国語大学のほか、愛知県立大学・南山大学などで非常勤講師の傍ら、在米エルサルバドル系移民に関する共同研究参加中。少林寺拳法四段。スペイン語にまつわる趣味としては、サルサ等ラテン音楽鑑賞。

ブラジル・ポルトガル語（初中級2）

L15・土曜2限

ジラス・ハダマ・パトリシア（10回）

教材：教科書（購入必須）重松由美、瀧藤千恵美、Felipe Ferrari『ブラジル・ポルトガル語を話そう！（改訂版）』朝日出版社
ISBN: 978-4-255-55505-8 2,530円（税込）<https://text.asahipress.com/others/detail.php?id=1654>

①10/5、②10/12、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14（予備日：未定）

◆講師プロフィール

Patricia Dias Hadama（ジラス・ハダマ・パトリシア）

パウリスタ大学 ポルトガル語・英語語学学科

パウリスタ大学大学院 大学教員学科（大学修士）

ブラジル国リオデジャネイロ州 ラバ教育大学大学院 ブラジル文化・文学学科

ブラジル国リオデジャネイロ州 ラバ教育大学大学院 ポルトガル語 語学教育法学科

南山大学非常勤講師

中部大学非常勤講師

パウリスタ大学指導員

名古屋外国語大学非常勤講師

ブラジル・ポルトガル語、ブラジル文化、ブラジル文学、ブラジル・ポルトガル語教育の方法論



◆講座の趣旨・目標

ブラジル・ポルトガル語を初めて学びたい人やすでに分かる人でもその人に合ったレベルを対象としており、ブラジル・ポルトガル語を気軽にわかりやすく、楽しく学ぶことです。発音、挨拶、日常的なフレーズや語彙などを、対話を多く取り入れた

教則的な方法で学びます。授業は、学びと気まま時間になる事と思います。

◆講座内容

第1回 名詞の性、名詞の数、冠詞／代表的なフェスティバル

第2回 形容詞、指示詞、所有表現／習慣

第3回 直説法現在（規則動詞：-ar, -er, -ir 動詞）／前置詞

第4回 不規則動詞／文学／カーニバル

第5回 動詞：直説法完全過去形

第6回 動詞：直説法不完全過去形

第7回 動詞：直説法現在未来形

第8回 動詞：直説法過去未来形

第9回 接続法／シネマ

第10回 復習／ブラジルと日本のつながり

◆授業の使用言語

日本語

◆自己紹介

私はブラジル人で、リオデジャネイロ出身です。私の学問的な専門分野はポルトガル語、ブラジル文化、そしてブラジル文学です。私は楽しくて魅力的な授業でポルトガル語とブラジル文化を教えています。私の目標は、生徒の個々のニーズや興味に合わせて教えることです。

Introduction to Arabic Letters

L16・土曜2限

フセイン・サディク（10回）

教材：参考書（購入必須ではない）竹田敏之『ニューエクスプレスプラス アラビア語』（CD付き）白水社、2019年。
ISBN: 978-4-560-08534-9

①10/5、②10/12、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14（予備日：未定）

◆講師プロフィール

Husein Sadiku（フセイン・サディク）

Post-graduate Diploma in TASOL (Teaching Arabic as a Second Language), King Saud University

Masters in Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

Arabic Language Lecturer, Nagoya University of Foreign Studies
Arabic Language

◆講座の趣旨・目標

This is a foundational course designed to immerse students in the basics of the Arabic script. Students will learn the 28 letters of the Arabic alphabet, focusing on their forms, pronunciation, and usage within words. This course will cover the unique

characteristics of Arabic writing, including letter connections and positional variations. By the end of the course, students will be equipped to read and write simple Arabic texts and gain a solid foundation for further studies in Arabic language and literature.

この「アラビア文字入門」コースでは、アラビア語の28文字の基本を学び、その形、発音、単語内での使い方に焦点を当てます。コース終了時には、簡単なアラビア語のテキストを読み書きできる基礎力を身につけることができます。

◆授業の使用言語

アラビア語、英語、日本語



タイ語中級

L17・土曜2限

寺田 ダラポン (10回)

教材:教科書(購入必須)三上直光「タイ語の基礎」白水社 ISBN:978-4560-086-742 3,520円(税込)

①10/5、②10/12、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14 (予備日:未定)

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン (テラダ ダラポン)
三重大学修士(教育・数学)
名古屋大学 博士論文(研究生、教育・数学)
愛知大学(タイ語・非常講師)
名古屋外国語大学(タイ語・非常講師)



◆講座の趣旨・目標

タイ語ができないことからタイ語で自分の気持ちを伝えることができる授業。タイ文字をできないからタイ文字を読む自信を持っている。ネイティブ講師による、文法中心・単語・発音をしっかり学ぶ、スムーズに日常会話を習得できる。タイ語検定試験4級を合格できるように指導します。

◆講座内容

第1回 後ろにすわると、先生の言うことが聞こえませんよ。
第2回 彼は何も手伝わない。そのうえ口も悪い。

第3回 子供の将来がどうなるか分からない。

第4回 家では彼はタイ語も中国語も話す。

第5回 この家はきれいだが、ちょっと小さすぎる。

第6回 ドルが高くなると、タイ人だけでなく、日本人も困る。

第7回 あなたは月曜日か火曜日に来なければならない。

第8回 私にとっては、お金は人生で一番大切なものではない。

第9回 私が強く印象づけられたのは暖かくて心のこもったタイ人の微笑みです。

第10回 私の兄は新しい車を買うのに十分なお金がない。

◆授業の使用言語

日本語

◆自己紹介

タイの大学を卒業し、5年間フィリピンに留学、その時 America Air froce でタイ語の講師を務めました。31年前に、日本へ来ました。2001年から今まで三重県でタイ語の通訳人を務めています。どうぞよろしく願いいたします。

Let's Talk in English

L18・土曜2限

マージョリー・リズエロ (10回)

教材:教科書は使わない

①10/5、②10/12、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14 (予備日:未定)

◆講師プロフィール

Marjorie Resuello (マージョリー・リズエロ)
PhD in International Development, Nagoya University (Completed)
Master in Development Management and Governance, University of the Philippines Los Banos
Bachelor of Science in Development Communication, University of the Philippines Los Banos
Lecturer, Nagoya University of Foreign Studies
Sustainable Development, Foreign Language Education, Governance



◆講座の趣旨・目標

This course is aimed to help learners to speak English with confidence. The lessons and materials that will be provided each class by the instructor will help in improving English reading, listening, and writing skills, but the main focus is speaking.

◆講座内容

The classes will serve as a speaking practice to help students learn useful vocabularies and expressions for everyday communication and situations, such as introducing yourself, meeting new people, sharing your interests, traveling, giving advice, and sharing opinions.

◆授業の使用言語

英語

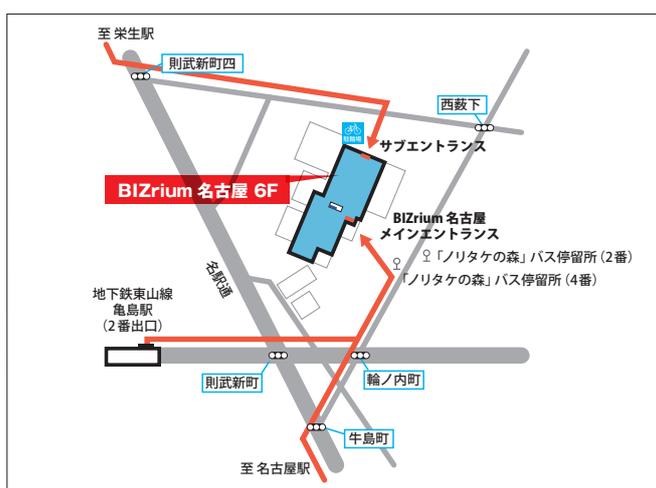
◆英語講座の対象レベル

Students with beginner to advanced English skills are welcome.

◆自己紹介

Hi! I am Marjorie. I am from the Philippines. English is our official language and we use it in schools and workplaces. I think that learning English is fun! Let us use English to communicate ideas, learn together, and build confidence.





名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト) BIZrium 名古屋 6F

(イオンモールNagoya Noritake Garden併設)

〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町3丁目1番17号 BIZrium名古屋6F

JR 名古屋駅から徒歩12分、地下鉄東山線 亀島駅から徒歩6分

名鉄名古屋本線 栄生駅から徒歩10分

名古屋市営バス・なごや観光ルートバス(メーグル)「ノリタケの森」下車(名古屋駅バスターミナル(6番のりば)から乗車時間約4分)